

2010年8月24日
三菱電機株式会社

3D映像も楽しめる、ハードディスクとブルーレイ両方搭載の「録画テレビ」
三菱液晶テレビ「REAL」MDR1シリーズ新商品発売

三菱電機株式会社は、ハードディスクとブルーレイディスクレコーダーの両方を搭載し、3D映像も高画質・高音質で楽しめるオールインワン液晶テレビ「REAL」MDR1シリーズ計3機種を10月21日に発売します。3D映像やデジタル放送の「見る」「録る」「残す」などの豊富な機能が「らく楽アシスト」で、らくに楽しめます。



液晶テレビ「REAL」MDR1



ユニバーサルリモコン

らく楽アシスト

新商品の特長

1. 3D映像も楽しめる、ハードディスクとブルーレイ両方搭載の録画テレビ

- ・1台で3Dやデジタル放送を「見る」「録る」「残す」ことができるオールインワンモデル
 - ・最長約900時間*1録画できる、大容量1TBのハードディスクを内蔵
 - ・アンテナと電源を接続するだけの簡単配線と、テレビを置く場所だけの省スペース設置
- ※1 録画モードAE(10倍モード)で記録時

2. 録画テレビの豊富な機能がらくに楽しめる「らく楽アシスト」機能群

- ・よく使うボタンをわかりやすく配置した「ユニバーサルリモコン」
- ・電子番組表(EPG)の番組タイトルなどを音声でお知らせする「しゃべるテレビ」機能
- ・3D効果を選択でき、画面を視聴位置に向けられる「奥行きアジャスター&オートターン」機能
- ・ディスクの出し入れがしやすい「前面ディスクトレイ」

3. 迫力と臨場感ある3D映像を楽しめる、高画質・高音質

- ・LEDバックライト方式、4倍速駆動に対応、光沢パネルの新「DIAMOND Panel」を搭載
- ・「DIAMOND 3D Engine PRO」が、残像感の少ないクリアで迫力ある高画質映像を表示
- ・迫力の臨場感が楽しめる新「DIATONEスピーカーシステム」
10個のスピーカー(左右各2個、センター4個、ウーハー左右1個)を搭載

発売の概要

商品名	形名	型	希望小売価格	発売日	当初月産台数
ハードディスク内蔵ブルーレイ ディスクレコーダー搭載 液晶テレビ「REAL」	LCD-55MDR1	55V型	オープン	10月21日	2,000台
	LCD-46MDR1	46V型			2,500台
	LCD-40MDR1	40V型			5,500台

報道関係からの お問い合わせ先	〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目7番3号 電話 03-3218-2359 FAX03-3218-2431 三菱電機株式会社 広報部
--------------------	---

発売の狙い

薄型テレビ市場は、エコポイント制度の効果もあり、2011年7月の地上デジタル放送への完全移行に向けて、本格的な需要期を迎えています。特に、テレビと録画機器との接続の手間が無く、手軽に録画・再生ができる録画機能付きテレビに対するニーズは拡大傾向にあります。

当社は今回、2009年10月に発売以来好評をいただいているハードディスクとブルーレイディスクレコーダーの両方を搭載した録画テレビの新製品として、話題の3D映像も楽しめる55V型から40V型のオールインワン液晶テレビ「REAL」MDR1シリーズ計3機種を発売します。

特長の詳細

1. 3D映像も楽しめる、ハードディスクとブルーレイ両方搭載の録画テレビ

(1) ハードディスクとブルーレイ両方搭載

ハードディスクとブルーレイディスクレコーダーの両方を搭載しているので、1台でデジタル放送を「見る」「録る」「残す」ことができます。また、市販やレンタルのブルーレイソフトも再生できます。

(2) 3Dにも対応

専用の3Dメガネを通して見ることにより、3Dの放送もパッケージソフトも楽しむことができます^{※2}。放送の3D信号は、サイドバイサイド方式、パッケージソフトの3D信号はフレームパッキング方式に対応しています。3D視聴用の専用メガネは、2個標準で製品に同梱しています。

また、大容量1TBのハードディスクを内蔵しているため、3D放送のほか、フルハイビジョン映像を最大約900時間^{※1}長時間録画することができます。

※2 3Dモードを切り替えて各方式に対応。

サイドバイサイド方式：オリジナル解像度を水平方向に2分の1とした左眼用映像データと右眼用映像データを1フレーム内に配置するフォーマット

フレームパッキング方式：オリジナル解像度の画面を、左右信号を含めてオリジナル解像度のまま伝送するフォーマット

(3) 簡単配線と省スペース設置

テレビとレコーダーとを接続する手間も不要で、設置はテレビを置く場所のみの省スペースです。

2. 録画テレビの豊富な機能がらくに楽しめる「らく楽アシスト」機能群

(1) よく使うボタンをわかりやすく配置した「ユニバーサルリモコン」

付属のリモコンは、よく使うボタンだけを表面にわかりやすく配置し、使用頻度が少ないボタン群はフラップ内に配置した2層構造です。録画の「予約する」、再生の「見る」のボタンは特に大きくしています。このリモコン1つで、録画予約や再生操作などを、シンプルな手順で簡単に操作することができます。

(2) 音で操作をわかりやすくする「しゃべるテレビ」機能と「報知音」機能

1) 「しゃべるテレビ」機能

電子番組表(EPG)の番組タイトルや内容、予約状況などを音声でお知らせします。メニュー項目を読み上げることもできるので、文字が見えにくい場合にも操作がしやすく便利です。さらに、読み上げ速度や音量を変更できます。

2) 「報知音」機能

リモコン操作でボタンが押されたことを「報知音」でお知らせします。ボタンの二重押しなどの誤操作を防止できます。

(3) 3D効果を選択でき、画面を視聴位置に向けられる「奥行きアジャスター&オートターン」

1) 「奥行きアジャスター」機能

右目と左目の視差によって立体的な映像を再現する3D映像は、視聴者によって効果が異なります。「奥行きアジャスター」機能は、3Dの効果を調整することが可能で、映像コンテンツの内容や視聴距離に合わせて3D映像を楽しむことができます。

2) 「オートターン」機能

リモコンのボタン操作でテレビ画面を左右各約20度ずつ回転させることができる「オートターン」機能を全機種に搭載しています。正面のベストポジションで映像と音を楽しむことができるので、正面からの視聴が不可欠である3D映像を楽しむ際にも有効です。

(4) 前面ディスクトレイ

ディスクトレイを前面に配置しているため、ディスクの出し入れを手前から簡単に行うことができます。幅が限られたスペースに本体を設置した場合でも、ディスクの出し入れ操作に影響がありません。

3. 迫力と臨場感ある 3D 映像を楽しめる、高画質・高音質

<高画質>

(1) 新「DIAMOND Panel」

LED バックライト方式で、4 倍速駆動に対応した新しい「DIAMOND Panel」を搭載しています。光沢コートを施した滑らかな表面がパネル内部からの光の散乱を低減し、深みと奥行きのある艶やかな色再現により、被写体の持つ質感をより忠実に表示します。

(2) 新高画質回路「DIAMOND 3D Engine PRO」

1) 4 倍速駆動

前後の画像フレームを瞬時に解析して補間フレームを挿入することにより、通常毎秒 60 枚の画像フレームで構成される動画映像を、4 倍の毎秒 240 枚の映像で表示して、残像感の少ないクリアな高画質映像を再現します。

2) 超解像度機能「DIAMOND HD」

低解像度から高解像度まであらゆる映像ソースを解析して補正を加え、自然で高密度な映像を再現します。例えばデジタル放送では、送信時などのデータ圧縮時に失われた画像データを推定し、オリジナル画像の鮮鋭さや質感を再現します。

<高音質>

(3) 新「DIATONE スピーカーシステム」

左右に各 2 個、センターに 4 個、ウーハーを左右に各 1 個の、合計 10 個のスピーカーを搭載しています。セリフやボーカルが聞き取りやすくなるセンタースピーカーを新たに搭載しました。最大 50W の大出力が、はっきりした音で広範囲なサラウンド感を再現します。また、音に奥行き感が出るため、3D の映画などを迫力の臨場感でお楽しみいただけます。

(4) 音声補間技術「DIATONE HD」をはじめとする高音質化機能

1) 音声補間技術「DIATONE HD」

デジタル放送送信時などのデータ圧縮時に失われた音声データを予測補間し、オリジナル音声の立体感、奥行き感を再現します。

2) 「DIATONE サラウンド 5.1」機能

独自のサラウンド回路により、テレビ本体に内蔵したスピーカーだけで本格的な 5.1ch サラウンドの迫力ある音場を再現できます。

3) 「DIATONE サラウンド 2.0」機能

通常のステレオ音声をよりワイドな広がり感のある音場で再現します。一般のテレビ放送や、サラウンド記録のない映画、スポーツ、音楽番組なども臨場感のある音質でお楽しみいただけます。

4) 「DIATONE サラウンド HEADPHONE」機能

通常の 2ch ヘッドホンで 5.1ch サラウンドの臨場感ある音再現を可能にする「DIATONE サラウンド HEADPHONE」機能により、サラウンド回路が内蔵されていない通常の 2ch ヘッドホンでも簡単に 5.1ch サラウンド効果が楽しめます。

5) 「DIATONE BASS」機能

迫力ある低音を再現する「DIATONE BASS」機能により、サラウンドのコンテンツなどをより臨場感のある音質でお楽しみいただけます。

6) 「DIATONE リニアフェイズ」回路

スピーカーユニットの特性やスピーカー開口部の形状などの音質に与える影響を、補正信号を加えることで打ち消し、高級スピーカーに近い高音質な音場を再現します。

その他の特長

1. 奥行き感のある映像を手軽に楽しむことができる「2D-3D 擬似変換」機能

独自の画像処理技術により、通常の放送の映像や、DVD・ブルーレイソフトの映像で擬似的に視差を生成することで、3D のような奥行き感のある映像を手軽に楽しむことができます。

2. ブルーレイディスクとハードディスク、記録型 DVD への長時間フルハイビジョン記録が可能

(1) 長時間フルハイビジョン記録

圧縮効率の高い記録方式である MPEG-4 AVC/H.264 映像圧縮方式を採用しました。デジタル放送の映像データを圧縮せずに記録する DR モードに比べ、約 10 倍^{※3}の長時間フルハイビジョン記録が可能です。これにより、ブルーレイディスク(片面 2 層: 50GB)に約 43 時間 20 分^{※4}フルハイビジョン映像を記録することができます。

(2) 大容量 1TB 内蔵ハードディスク

大容量 1TB のハードディスクを内蔵しています。これにより、フルハイビジョン映像を最大約 900 時間^{※4}長時間録画することができます。

(3) 記録型 DVD へのフルハイビジョン記録

記録型 DVD へフルハイビジョン映像を記録するために策定された AVCREC 規格に対応しているため、DVD-R/-RW(片面 1 層、4.7GB)に最大約 4 時間^{※3}、DVD-R DL(片面 2 層、8.5GB)に最大約 7 時間 30 分^{※3}フルハイビジョン映像を記録することができます。

※3 ハードディスク、ブルーレイディスクに、BS・110 度 CS デジタルのハイビジョン映像(約 24Mbps)を録画モード DR(放送波そのままのビットレート)と録画モード AE(10 倍モード)(約 2.4Mbps)で記録した場合との比較

※4 録画モード AE(10 倍モード)で記録時

3. 「効率よく見る」ための当社独自の機能群を搭載

(1) 「オートカット i」^{※5}

内蔵ハードディスクに予約録画した番組の番組部分、または CM 部分だけを自動で再生できます。「オートカット i」で録画した番組の番組部分あるいは CM 部分だけをブルーレイディスクや記録型 DVD に保存することもできます。

(2) 「見どころ再生」^{※6}

内蔵ハードディスクに予約録画したスポーツ番組や音楽番組の見どころだけを自動で再生できます。見どころ部分だけをブルーレイディスクや記録型 DVD に保存することもできます。

(3) 「シーン検索」^{※7}

内蔵ハードディスクに予約録画した番組の再生中に、リモコンの「シーン検索」ボタンを押すと、場面が切り替わるところなどの場面(シーン)が表示されます。見たい場面を選んで「決定」ボタンを押すと、選んだ場面から再生することができます。

※5 録画・再生設定画面で「番組部分用」または「CM 部分用」のどちらかを選択しておく必要があります

※6 録画・再生設定画面で見どころ再生情報を「生成する」を選択しておく必要があります

※7 録画・再生設定画面で、自動チャプターマークの設定を「おすすめ自動」に設定しておく必要があります

4. 生活に役立つ情報や、様々な映像コンテンツをいつでも楽しめる「アクトビラ」対応

デジタルテレビ向けのネットサービスである「アクトビラ」^{※8}に対応しています。ブロードバンド回線に接続することで、生活に役立つ情報や、豊富な映像コンテンツを楽しめます。全画面で迫力のあるハイビジョン映像を視聴できる「アクトビラ ビデオ・フル」に対応するとともに、映画やドラマなど様々な映像コンテンツを内蔵ハードディスクにダウンロードすることで、ダウンロードした映像コンテンツを視聴できる「アクトビラ ビデオ・ダウンロードレンタル」、ブルーレイディスクや記録型 DVD へダビングして楽しむことのできる「アクトビラ ビデオ・ダウンロードセル」にも対応しています。

※8 「アクトビラ」とは、株式会社アクトビラが提供するデジタルテレビ向けネットサービスの総称です。「アクトビラ」を利用するためには、インターネットのブロードバンド環境(ADSL、FTTH、CATV など)が必要です。「アクトビラ」の利用には、一部の有料サービスを除き料金はかかりません。ただし回線利用料やプロバイダーとの契約・使用料金が別途必要です。

5. 使う人に合わせた簡単に便利な機能を満載

(1) 「おすすめ音量」機能

異なるチャンネルや異なる放送波、ブルーレイ/DVDなどの外部入力などの入力ソースの切り替え時でも、音量感を常に一定範囲に自動調整する機能です。これにより、お好みの音量を設定すれば、番組からCMへの切り替わる時の大音量を抑えたり、本編中の小さな音を大きくしたりするなど、音量の違いを自動調整します。

(2) 「おすすめ自動録画」機能^{※9}

録画・再生などの履歴から、ユーザーの傾向や好みを解析し、その傾向や好みに合わせて番組を自動的に録画します。

(3) 「フリーワード検索」機能

番組タイトルや出演者名などのフリーワードを入力すれば、関連する番組を表示します。また、「スポーツ」「音楽」などのキーワードでも番組を検索することができるので、お好みの番組を簡単に探せます。

(4) デジタル放送2番組同時録画^{※10}

地上波デジタルチューナーとBS・110度CSデジタルチューナーを2つずつ搭載しているので、2つのデジタル放送番組を同時に録画できます。

(5) SDカードスロット、USB端子を装備

SDカードやUSBケーブル接続の入力に対応しています。デジタルカメラなどで撮影した写真をテレビ画面で確認できます。AVCHD方式で記録されたデジタルビデオカメラの映像も、内蔵ハードディスクにダビングすることで、再生はもちろん、ブルーレイディスクや記録型DVDに再度ダビングすることもできます。

(6) i.LINK (TS入力) 端子を装備

CATV用セットトップボックスからの録画に対応しています。

(7) 「ECO画質モード」

明るさセンサー^{※11}と視聴者別設定の機能により、視聴者の年代に合わせて画面の内容に適した明るさや色味に自動調整します。

(8) 「声ハッキリ」モード

アナウンサーや人の声が聞き取りやすくなります。

(9) 「らくらく設定」機能

テレビ設置時に行うチャンネル設定などを、問い合わせ方式で設定できます。郵便番号や市外局番を入力するだけでデジタル放送のチャンネル設定が完了します。

※9 録画・再生設定画面で、「入(安心型のみ)」、「入(発掘型のみ)」、「入(安心型+発掘型)」からいずれかを選択しておく必要があります

※10 2番組同時録画の際は、一方の番組を録画モードDRにしてください

※11 ご家庭の明るさ環境に合わせて、画面の輝度・コントラストを自動調整します

6. 省エネに貢献する商品設計と、「環境リスク物質の排除」に配慮した商品づくり

(1) 省エネに貢献する商品設計

- ・「ECO画質モード」機能で消費電力をセーブ
- ・無信号時(約10分後)電源オートオフ
- ・無操作時(約3時間以上)電源オートオフ
- ・明るさセンサーの検知で、部屋の照明が消えて真っ暗になると電源オートオフ
- ・主電源[切]時は待機時消費電力をセーブ

(2) 省エネ効果を画面上で確認できる「ECOメーター」「ECOモニター」

・「ECOメーター」

現在の概算消費電力や省エネ度がひと目で分かります。「ECO画質モード」の設定状況を葉っぱのアイコンでお知らせします。

・「ECOモニター」^{※12}

現在の省エネ設定と省エネ設定を行わない場合を比較して、電気代やCO₂排出量の概算累積削減量を表示します。

※12 「ECO画質モード」時と工場出荷時とを比較したバックライトの消費電力削減量の累積値。実際のテレビ全体の消費電力とは異なります。また、使用環境や設定状況により数値は異なります

(3)「資源有効利用促進法」に基づく特定化学物質の含有表示方法である J-Moss「グリーンマーク」に適應しています。

主な仕様

種類	ハードディスク内蔵ブルーレイディスクレコーダー搭載液晶テレビ		
形名	LCD-55MDR1	LCD-46MDR1	LCD-40MDR1
画面サイズ	55V 型	46V 型	40V 型
画面アスペクト比	16:9		
画素数 (パネル種類)	水平 1920×垂直 1080 (フルハイビジョン)		
チューナー 内蔵	地上デジタル	○ ×2	
	BS デジタル	○ ×2	
	110 度 CS デジタル	○ ×2	
	地上アナログ	-	
CATV パススルー対応	○		
電源	AC100V 50/60Hz		
内蔵スピーカー数	サイドスピーカー 左右 各 2 個 合計 10 個搭載 センタースピーカー 合計 4 個 ウーハースピーカー 左右 各 1 個		
音声実用最大出力 (JEITA)	左右 : 10W+10W、センター : 10W、ウーハー : 10W+10W		
HDMI 入力端子	3 系統 3 端子※13		
D 端子	D4 映像対応 1 系統 1 端子		
PC 入力端子	(映像) ミニ D-sub15 ピン 1 系統 1 端子 (音声) ステレオミニジャック		
ビデオ入力端子	3 系統 3 端子(内 2 系統の映像は S2 端子またはコンポジット)		
音声出力端子	1 系統 1 端子		
デジタル 光音声出力端子	1 系統 1 端子		
ヘッドホン端子	1 端子		
USB 端子	1		
i.LINK (TS 入力)端子	1		
SD カードスロット	1		
LAN 端子	1		
消費電力	未定 (消費電力、年間消費電力量、外形寸法、質量等については 順次当社ホームページで公開します)		
年間消費電力量※14			
外形寸法			
質量			
主な付属品	リモコン 3D メガネ 2 個		

※13 HDMI 入力 1 のみ 3D 対応

※14 年間消費電力量は「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間を基準に算出した、1 年間に使用する電力量です。トップランナー基準(目標年度：平成 24 年度)に基づく値を今後、記載します

<レコーダー部仕様>

ハードディスク容量		1TB	
メディアの種類	録画(メディアに直接)		HDD BD-RE ^{*15} BD-R ^{*16}
	ダビング	デジタル放送の「1回だけ録画可能」番組、「ダビング10」番組	BD-RE ^{*15} BD-R ^{*16} DVD-RW(VR方式) ^{*17} DVD-RW(AVCREC方式) ^{*17} DVD-R(VR方式) ^{*18} DVD-R(AVCREC方式) ^{*18}
		外部入力	HDD BD-RE ^{*15} BD-R ^{*16} DVD-RW(VR方式) ^{*17} DVD-RW(Video方式) ^{*17} DVD-R(VR方式) ^{*18} DVD-R(Video方式) ^{*18}
	再生		HDD BD-RE ^{*15} BD-R ^{*16} DVD-RW(VR方式) ^{*17} DVD-RW(AVCREC方式) ^{*17} DVD-RW(Video方式) ^{*17} DVD-R(VR方式) ^{*18} DVD-R(AVCREC方式) ^{*18} DVD-R(Video方式) ^{*18} BDビデオ ^{*19} DVDビデオ ^{*20} 音楽用CD ^{*21} CD(JPEG) ^{*22} SD(JPEG) ^{*23} USB(JPEG) ^{*23} DVD(AVCHD) ^{*24} SD(AVCHD) ^{*25} USB(AVCHD) ^{*25}
ハードディスク録画時間	DRモード	地上デジタルHD放送	約127時間
		BSデジタルHD放送	約90時間
		BSデジタルSD放送	約180時間
	AFモード		約160時間
	ANモード		約254時間
	AE(10倍)モード		約900時間
	XPモード		約220時間
	SPモード		約443時間
	LPモード		約883時間
EP(8時間)モード		約1,773時間	
番組部分またはCM部分だけの再生 [オートカットi]		○	
見どころ再生(スポーツ/音楽)		○/○	

* 録画時間はおよその目安です

- ※15 BD-RE DL (2層) 50GB/BD-RE SL (1層) 25GB (Ver.2.1 準拠 高速記録 2倍速ディスクまで使用可)。
外部入力「1回だけ録画可能」番組は録画できません
- ※16 BD-R DL (2層) 50GB/BD-R SL (1層) 25GB (Ver.1.1、1.2、1.3 準拠 高速記録 6倍速ディスクまで使用可)。外部入力「1回だけ録画可能」番組は録画できません
- ※17 片面 4.7GB (Ver.1.1、1.2 準拠 高速記録 6倍速ディスクまで使用可)
- ※18 DVD-R (1層) 4.7GB/DVD-R DL (2層) 8.5GB (Ver.2.0、2.1 高速記録 16倍速ディスクまで使用可、Ver.3.0 高速記録 8倍速ディスクまで使用可)。DVD-R DL へのダビングは AVCREC 方式のみの対応となります
- ※19 リージョンコードに「A」が含まれるディスク
- ※20 リージョンコードに「2」や「ALL」が含まれるディスク
- ※21 音楽用 CD (CD-DA)、音楽用 CD 形式で記録され、ファイナライズ済みの CD-RW/CD-R
- ※22 JPEG ファイルが記録された CD-RW/CD-R
- ※23 JPEG ファイルが記録された SDHC (4GB~32GB) /SD (8MB~2GB) /USB 機器
- ※24 AVCHD 方式で記録された DVD-RW、-R (ファイナライズ済みのもの)
- ※25 AVCHD 方式で記録された SDHC (4GB~32GB) /SD (8MB~2GB) /AVCHD 方式のビデオカメラ機器の USB 接続。本機では直接再生はできません。ハードディスクへダビングした後、再生できます

商標関連

1. 「アクトビラ」は株式会社アクトビラの登録商標です。
2. AVCHD はパナソニック株式会社およびソニー株式会社の商標です。
3. i.LINK はソニー株式会社の商標です。
4. 電子番組表は、米 Gemstar-TV Guide International, Inc.が開発した「G ガイド」を採用しています。「G ガイド」は、Gemstar-TV Guide International, Inc.が知的財産権を保有する電子番組表(EPG)技術「G-GUIDE」をベースに株式会社インタラクティブ・プログラム・ガイド (IPG 社)がサービス開発し、BS-TBS (株式会社 BS-TBS) と提携して日本国内で運用する電子番組表(EPG)で、現在地上波アナログ/デジタル、BS アナログ/デジタル、110 度 CS デジタル放送全てをカバーし、全国で展開しています。G ガイド、G - GUIDE、および G ガイドロゴは、米 Gemstar-TV Guide International, Inc.またはその関連会社の日本国内における登録商標です。



5. HDMI、HDMI ロゴおよび High definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing,LLC の商標または登録商標です。

製作担当工場

三菱電機株式会社 京都製作所 AV 営業統轄部 AV 企画課
〒617-8550 京都府長岡京市馬場岡所 1 番地
TEL : 075-958-3449

お客様からのお問い合わせ先

三菱電機お客さま相談センター
フリーダイヤル 0120-139-365

- * ニュースリリースに記載されている内容は、広報発表日時点の情報です。予告なしに変更することがありますので、あらかじめご了承ください。